

令和5年度 高知県栄養士会生涯教育実務研修会アンケート集計

令和5年8月20日

日本食品標準成分表2020年版（八訂）と日本人の食事摂取基準2020年版の特徴からその活用の仕方を考える

高知県立大学 健康栄養学部 准教授 鈴木 麻希子 先生

参加者16名

NO.	1. 所属事業部	2. 年齢	3. 参加しやすい日時	4. 習得した事	5. 今後仕事に活かせるか	6. 講師の希望	研修項目	7. 質問・要望など	8. 回答
1	無記入	40歳代	土曜：午前 日曜・祝日：午前	資料をよく見直したいと思います。					
2	福祉	40歳代	土曜：午前・午後・夜間 日曜・祝日：午前	成分表八訂の考え方	給食管理、栄養管理で。まだ職場は七訂なので考え方を。			なかなか90分では足りないと感じました。	食品成分表については、昨年度、渡邊智子先生から、詳しくご講義いただいておりますので、今回は、食事摂取基準と食品成分表の両方を活用する管理栄養士の立場から、どのように活用すべきかということに重きを置きました。しかし、昨年研修に参加の方向けに、基本的事項を簡単に入れたため、盛りだくさんに感じられたかもしれません。今後、発展的な内容を入れる際には、基礎編と応用編で同じ年度に2回研修を組むなどして、多様なニーズに応えることも検討していきたいです。
3	地域活動	60歳代以上	平日：午後 土曜：午後 日曜・祝日：午後	7訂と8訂の成分表の数値の意味を詳しく説明していただけて理解できた。	現場、医師の指示の栄養量との整合性、修正など考え方を医師にも理解してもらわないといけないと思います。				
4	福祉	40歳代	土曜：午後	成分表と食事摂取基準の作成が違うところから出ていること、2つの違いを活用するのにしやすくなった。	正しい両方の使い方				
5	研究教育	60歳代以上	平日：午後 土曜：午後 日曜・祝日：午後	2015Eと2020Eの違いについて。管理栄養士としての対応の仕方について。	とても勉強になりました。今後（明日）の栄養士活動に生かしたいと思います。			明日の業務に結びつく内容にすべきと思います。	今回の研修は、管理栄養士・栄養士が食品成分表や食事摂取基準を使う際に課題意識を持って、個々の用途に合わせて適切な活用の仕方を選択していただきたいという思いがあり、そのためには、その背景にあるもの、策定の過程や改訂による内容の違いをしっかりと押さえていただくことが必要だと考え行ったものです。一律に示すことのできないこともあり、適切に活用するための考え方や視点を持っていただく、そのような研修会があっても良いと考えています。
6	福祉	40歳代	平日：午後 土曜：午後 日曜・祝日：午後	特徴、活用の仕方。	日々の栄養管理と、現場への情報提供。				
7	地域活動	60歳代以上	平日：夜間 土曜：午後 日曜・祝日：午前・午後	自身も献立作成や見直しを行う時、七訂と八訂（ソフト）で異なる事に戸惑ってました。自分の中でグレーだった点が解明出来ました。	栄養指導の献立作成は今のところ七訂だったので、患者さんが戸惑わない様になります。			ありがとうございます。	
8	地域活動	60歳代以上	土曜：午後 日曜・祝日：午後	7訂、8訂の成分表値の考え方、どう対処すべきか習得した。	混乱しないようにしたい。				
9	医療	50歳代	平日：夜間 土曜：午後 日曜・祝日：午前						

NO.	1. 所属事業部	2. 年齢	3. 参加しやすい日時	4. 習得した事	5. 今後仕事に活かせるか	6. 講師の希望	研修項目	7. 質問・要望など	8. 回答
10	研究教育	60歳代以上	土曜：午前・午後 日曜：午前・午後	食事摂取基準2020年版の基本と、成分表2020年版の変更点など。	献立作成指導などに。				
11	公衆衛生	50歳代	土曜：午前・午後 日曜・祝日：午前・午後	考え方を詳しくお聞きすることができ、よかったです。	生活習慣病予防、重症化予防での取り組みへ。				
12	学校健康	60歳代以上	土曜：午前・午後 日曜・祝日：午前・午後	食品成分表のエネルギー算出方法について七訂と八訂の違い。数値の違いをどのようにとらえたらいいか、質疑応答での意見が大変参考になりました。				ありがとうございました。	
13	医療	20歳代	土曜：午前・午後 日曜・祝日：午前・午後	食品成分表の七訂と八訂のどこが違うのか詳しく理解することができました。	病院の献立作成や栄養指導の時に活用していきたいと思いました。				
14	医療	60歳代以上	平日：夜間 土曜：午前・午後 日曜・祝日：午前・午後	日本人の食事摂取基準について	個人指導、集団給食管理に活かしていきたい。				
15	医療	60歳代以上	平日：夜間 土曜：午前・午後 日曜・祝日：午前・午後			木戸先生		今日のテーマは悩ましい問題ですね。	木戸先生が仰られていましたように、栄養士会として食事摂取基準と日本食品標準成分表の整合性を高めて、より活用しやすいものとしていただくよう提言していくことも必要なかと思います。
16	研究教育	30歳代	平日：夜間 土曜：午後・夜間 日曜・祝日：午後	食事摂取基準と食品標準成分表（八訂）の理解を深めることができました。					